

すくすく育てたがわっ子



子どもを狙った魔の手から 地域のみんなで 子どもを見守ろう

田川市内で、昨年4月から今年2月までの間、小学生や中学生の女子児童生徒に、下半身の露出や、身体を触る、抱きつくなどの不審者事案が8件、発生しています。

幸い、これまで被害児童などが怪我をするなどの事件には至りませんでした。常に見守る活動に発展する危険性をはらんでいます。

そのため、田川市では登下校時間帯を中心に毎日、青色パトカーが通学路を巡回しています。

また市内各中学校区では、ボランティアやPTAによる子どもたちの交通誘導や低学年児童の引率下校、パトロールなど「子どもの安全」を守る様々な活動を行っています。

しかし、子どもが犠牲になるなどの痛ましい事件は、「何時」「どこ」で起こるかわかりません。

間もなく、春休みとなります。子どもたちが明るく元気に過ごすためにも、地域みんなで、きめ細かく見守っていくことが大切です。

青色パトカーを 無料で貸し出します

「田川市防犯パトロール車貸付事業」に基づき、地域の自主防犯活動に対し、青色パトカーを一台



貸出しています。

燃料費や車両保険などの負担はありません。貸し出しを希望される人は、生涯学習課へ問い合わせください。

「わたしの主張」 田川地区大会

2月6日、「わたしの主張」田川地区大会（福岡県青少年育成県民会議田川地区協議会主催）が福岡町地域交流センターで開催され、田川市郡から選ばれた9人が、社会へ向けての意見や未来への希望などを発表しました。

田川市代表は佐野ひら芙さん（鎮西中学校2年）と岡本唯伽さん（後藤寺中学校2年）。

佐野さんは「今のわたしにできること」と題して、学校で問題となっている器物破損について発表。生徒会役員として、学校の環境を良くしようと呼びかけし、「自分た

ちの学校は自分たち生徒の力で良くしていきたい」と訴えました。

岡本さんは「私の宝物」と題して、バレー部の活動を通じて、自分を支えてくれる存在に気づき、自分を改めて見直すことができたことと発表。最後まで努力し続ける気持ちや仲間との存在の大切さを忘れずに、目標や夢に向かってがんばりたいと主張しました。

審査の結果、糸田町代表の小原幹世さんと香春町代表の有門花恵さんが、8月に開催される「少年の主張福岡県大会」（朝倉市）に推薦されました。

▼問い合わせ 生涯学習課青少年対策室（☎44・5110）



おかもと ゆい か
岡本唯伽さん
（後藤寺中学校2年）



さ の ふ
佐野ひら芙さん
（鎮西中学校2年）